

---

---

## アイマトリックス株式会社

### 最新の AI/ディープラーニング技術を用いた革新的な情報漏えい対策 「マトリックスゲート AI」を開発

---

---

情報セキュリティ分野において、独自開発・研究を展開しているアイマトリックス株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役：小島 美津夫）は、次世代の情報漏えい対策技術として、AI/ディープラーニングを用いた「KizAssy」AI フレームワークを開発しました。本技術を適用することで、標的型攻撃、マルウェア、不正操作、コンプライアンス違反などによる個人情報、マイナンバー、企業機密等の漏えい、流出を未然に防御することが可能となります。



#### 【開発の背景】

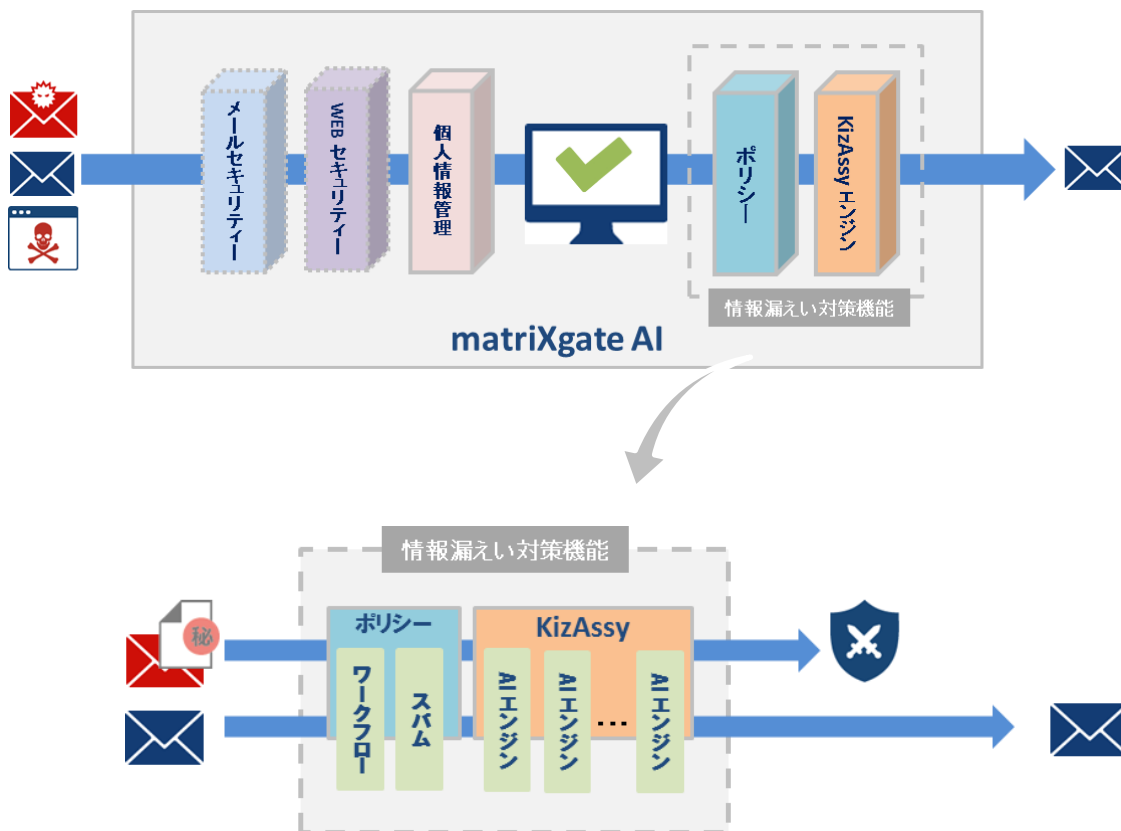
悪質なマルウェアや不正操作による情報漏えいの手法は複雑化・多様化を遂げているにもかかわらず、情報漏えい対策は従来のコンテンツ保護や、ログ管理、またはメール誤送信防止機能などの原始的な方法に留まっています。攻撃者や不正を働く者は、現状の対策の限界を理解しており、比較的に見つけにくい業務上必要とするメールの本文や添付ファイルに情報を紛れさせて漏えいを試みます。更には、人的ミスなどで情報が漏えいしてしまう可能性もあります。そのため、人的ミスや不正操作、ポッド感染など、情報漏えい的手段に関わらず、流出してはいけない文書やデータなどを自動的に検知する技術が求められています。

#### 【本技術の特徴】

当社は、個人情報、マイナンバー、企業機密等の漏えい・流出を未然に防御する技術として、AI/ディープラーニングエンジンを用い、情報漏えいに繋がる「兆し」を検知する技術を開発しました。一般的な AI 機械学習技術では、人間が膨大なデータに対し「着眼点」を設定する必要がありますが、AI ディープラーニング技術の場合は、AI が自身で「着眼点」を見つけ出し、学習し続けます。その結果、人間では気づくことができない情報漏えいに繋がる「兆し」の検知が可能となります。人間の盲点を狙う傾向のある攻撃者や不正行為、事故などへの対策に非常に有効な技術となります。

本技術は、当社の新製品「マトリックスゲート AI」に搭載されます。「マトリックスゲート AI」では、本技術と現行製品「マトリックスゲート」に採用されている誤送信防止機能やメール無害化機能と連携することにより、更に強靱な情報漏えい対策が可能となります。また標的型攻撃・ランサムウェアなど外部からの攻撃による被害を未然に防ぐサービスも搭載、次世代の統合型セキュリティ製品となります。

【マトリクスゲート AI 情報漏えい検出技術 概念図】



【今後の展望】

当社は、本技術による高度な情報漏えい対策の実現性のみならず、多分野にわたる技術応用の実用化に向けて、研究開発を進めていきます。

【販売開始時期】

2017年度 第4四半期

【出荷予定】

2018年度 第1四半期

【参考製品】

マトリクスゲート（現行製品）

<http://www.imatrix.co.jp/product/gate.html>

■ アイマトリックス株式会社について

URL : <http://www.imatrix.co.jp/>

2000年に創立され、主にEメール、システムセキュリティに関連するサービス、技術・市場開発を行ってきたベンチャー企業。日本市場シェア No.1※の「マトリックススキャン」に代表されるメールセキュリティソリューションの開発・販売を主軸とし、アイマトリックス独自開発技術によるハードウェア・ソフトウェア製品を発売しており、国内大手通信事業者から、企業、大学、ISP と多岐にわたる多くの団体・組織を顧客としています。

※ (市場調査データ：富士キメラ総研、ミック経済研究所)

■ 製品に関するお問い合わせ先

アイマトリックス株式会社

カスタマーリレーションズ 営業担当

TEL: 044-272-6771 E-mail : [sales@imatrix.co.jp](mailto:sales@imatrix.co.jp)

■ 報道に関するお問い合わせ先

アイマトリックス株式会社

カスタマーリレーションズ 広報担当

TEL: 044-272-6771 E-mail : [press@imatrix.co.jp](mailto:press@imatrix.co.jp)